

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第72号	氏名	山下 和範
学位審査委員	主査 進藤 裕幸 副査 丹羽 正美 副査 平野 明喜		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、脊椎手術における術後疼痛に対する、非選択的 COX 阻害薬であるフルルビプロフェンアキセチルの術前静脈内投与による鎮痛効果を客観的に証明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 手術侵襲度、年齢もほぼ同一の対象を3群に分け、その評価をVASを用いて経時的に評価する研究デザインは研究手法として妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 脊椎固定手術においてフルルビプロフェンアキセチルの術前静脈内投与が末梢での感作を抑制することに基づく、術後急性期の鎮痛効果と術後早期のモルヒネ使用量を減少させる効果を証明している。手術侵襲前にCOX阻害薬を投与することの有用性を示したことは術後疼痛への対応に対する新しい治療法を示唆したもので、高く評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は術後疼痛に対する鎮痛療法の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			